

## 住民避難の状況

地震発生直後から、住宅等に被害を受けた多くの住民が避難所に避難した。避難者数は、市町村別では、西伯町が最も多く、次いで日野町、米子市が多かった。

- (1) 避難者数 3,031人 (10市町)  
避難所数 84箇所 (10市町) ※ 避難者があった避難所のみ
- (2) ピーク時避難者数 2,703人 (8市町)・・・10月7日正午  
ピーク時避難所数 75箇所 (10市町)・・・10月6日23:30
- (3) 避難期間 10月6日～11月13日  
※ 11月13日午前まで日野町黒坂の町老人福祉センターに避難していた4世帯5名のうち、3世帯4名が仮設住宅に入り、1世帯1名が自宅に戻ったことで、避難者がゼロとなった。



### 避難状況の推移

(上段：避難者数、下段括弧書き：避難所数)

市町村名	10月6日					7日				8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	最大値	
	15:00	18:00	22:00	22:30	23:30	8:00	9:30	12:00	15:00										18:00
米子市	224 (20)	379 (20)	354 (17)	384 (29)	398 (29)	398 (29)	不明 (22)	362 (20)	224 (20)	379	311	588	249	279	127	111	79	60	588 (29)
境港市	74 (6)	80 (7)	38 (4)	38 (4)	46 (5)	52 (5)	49 (5)	90 (6)	74 (6)	80	83	125	87	64	40	31	32	20	125 (7)
西伯町	1,094 (19)	1,104 (19)	878 (18)	782 (18)	1,104 (18)	1,104 (18)	1,094 (19)	1,094 (19)	1,094 (19)	1,104	787	777	190	74	28	20	18	17	1,104 (19)
会見町	20 (1)	30 (1)	25 (2)	75 (2)	76 (2)	88 (2)	78 (2)	70 (1)	20 (1)	30	35	97	76	39	25	23	14	12	97 (2)
岸本町		1 (1)	11 (1)	11 (1)	11 (1)					1		14	7						14 (1)
淀江町	29 (4)	11 (1)	10 (2)	19 (4)	19 (4)	29 (4)	29 (4)	29 (4)	29 (4)	11									29 (4)
日南町			1 (1)	1 (1)	1 (1)							16							16 (1)
日野町	770 (9)	770 (9)	300 (8)	700 (8)	700 (8)	770 (9)	770 (9)	770 (9)	770 (9)	770	576	339	293	176	145	130	75	44	770 (9)
江府町	15 (3)	15 (3)	11 (1)	11 (1)	13 (1)	13 (1)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	15	15	14	14	12	12	12	12	12	15 (3)
溝口町	273 (9)	269 (9)	不明 (6)	130 (6)	130 (6)	130 (6)	130 (6)	273 (9)	273 (9)	269	157	134	134	52	44	44	42	41	273 (9)
計	2,499 (71)	2,659 (70)	不明 (60)	2,151 (74)	2,498 (75)	2,584 (74)	不明 (69)	2,703 (71)	2,499 (71)	2,659	1,964	2,104	1,050	696	421	371	272	206	3,031 (84)

※ 市町村が集計した避難所数、避難者数を表示しており、時間表示がないものはその日のピークの数値を示している。

### 避難勧告の発令状況

市町村名	発令対象	勧告日時	解除日時
日南町	菅沢地区 3世帯7名	10月6日16:30	10月8日10:00
日野町	根雨1区 20世帯31名 根雨2区 3世帯6名	10月6日19:00	10月13日16:50
	本郷地区 10世帯40名 及び7事業所	10月10日13:00	10月13日16:52
溝口町	大坂地区 2世帯10名	10月7日15:30	10月18日17:00
	父原地区 4世帯18名	10月8日11:33	10月11日8:00 (1世帯8名) 10月24日18:30 (2世帯3名) 14年3月20日17:00 (1世帯7名)
	大坂地区 1世帯7名	11月2日8:50	11月3日16:30
米子市	宗像地区 1世帯3名	10月12日14:10	12月22日9:45
	宗像地区 2世帯5名	10月12日15:46	11月16日13:30 (1世帯2名) 11月16日15:30 (1世帯3名)
	青木地区 2世帯8名	10月14日13:40	11月3日13:00
計	48世帯135名及び7事業所		

※ 年表示のないものは全て平成12年。また、避難指示については発令なし

避難所での様子



# 続く余震 不安の住民

## 鳥取県西部地震

### 避難生活 眠れぬ夜

#### 疲労の色濃く

鳥取県西部地震から一夜明けた日、鳥取県西部の被災地では夜が静けさを感じず、避難生活の不安は相変わらず続いている。鳥取県西部の被災地では、避難生活を送る住民は、余震の不安から眠れぬ夜を過ごす。被災地の住民は、余震の不安から眠れぬ夜を過ごす。被災地の住民は、余震の不安から眠れぬ夜を過ごす。



避難先の小学校で被災状況を報じる新聞に目を遣る住民。7日午前7時20分、鳥取県西部地震

#### 深い傷跡 懸命の復旧

被災地では、深い傷跡を残したまま、復旧作業が懸命に進められている。被災地では、深い傷跡を残したまま、復旧作業が懸命に進められている。被災地では、深い傷跡を残したまま、復旧作業が懸命に進められている。



大山山頂付近で地滑り

大山山頂付近で地滑りが発生した。被災地では、深い傷跡を残したまま、復旧作業が懸命に進められている。被災地では、深い傷跡を残したまま、復旧作業が懸命に進められている。

被災地では、深刻な被害を受けた。被災地では、深刻な被害を受けた。被災地では、深刻な被害を受けた。被災地では、深刻な被害を受けた。



わき水利用の水道使えず

被災地では、わき水の利用が困難な状況が続いている。被災地では、わき水の利用が困難な状況が続いている。被災地では、わき水の利用が困難な状況が続いている。

#### たん詰まらせ 患者8人あわや

保固団の発電機が救う

被災地では、保固団の発電機が重要な役割を果たしている。被災地では、保固団の発電機が重要な役割を果たしている。被災地では、保固団の発電機が重要な役割を果たしている。

平成12年(2000年) 10月8日 日本海新聞



避難所での様子